



第6回定時総会 2017.5.13 於: アミュー

支部長就任にあたって



支部長  
今井 康之(昭32経営)

私は、平成二十九年五月、第六回の定時総会において新支部長になった今井康之でございます。皆様にはまずまずご健勝にてご活躍のことと思います。

平成二十四年四月、校友会清瀬地域支部の設立総会が開催されてから五周年を過ぎ、会員相互の交流も着実に醸成され、清瀬地域支部の校友会活動も設立以来、粕谷支部長、和田幹事長を先頭に役員の方々の協力の下に清瀬市の地域市民活動への参加をはじめ、近隣地域支部との交流など「明治はひとつ」を合い言葉に大きく発展して参りました。昨年は、明治大学校友会清瀬地域支部五周年記念行事計画として清瀬市の大きな支援を頂き、清瀬第十小学校の学童、清瀬第九合唱団の皆さん、明治大学グリーククラブの皆さん、駿河台倶楽部の皆さんによるコンサートを開催し、地域に密着した素晴らしい催しとなりました。校友会活動が軌道に乗った五年間の実績を基盤に、今後は更に充実した校友会活動が求められます。また、今年が多摩支部の平成三十年定時総会の実行委員会に参画することになりました。清瀬地域支部も万全な体制を整えて臨みたいものです。平成二十九年の事業計画は、まだまだ課題が山積しています。特に新会員の加入と女性会員の加入の促進に努め、是非とも会員増を実現して皆さんと共に笑顔を絶やさずに校友会活動を続けたいと願っています。今後とも皆様のご指導ご支援ご協力を切にお願いいたします。

支部長退任にあたり

粕谷 彌太郎 (昭28政経)

五年間、役員および会員の皆様に支えられて六回目の定時総会を無事に務めさせて頂きました。誠に有難うございました。

これからも会員として『明治は一つ』をモットーに許せる時間を大切に会員の皆様と清瀬地域に貢献出来るよう模索して参りたいと思っております。よろしくお願いいたします。

「コンサート余韻に浸るけやき道」

粕谷彌太郎様は清瀬地域支部の発起から設立そして初代支部長として六年有余の期間、清瀬地域支部の発展に献身的に寄与されました。

昨年設立五周年では母校グリーンクラブ、同駿河台倶楽部合唱団に加え、清瀬第十小学校合唱団、清瀬で活躍する清瀬第九合唱団による合同コンサートを開催、成功に導き、その他会員相互融和に尽力されました。

お伺いしたところ学生時代にはフェンシング部で活躍されたそうです。オリンピック種目でもあり、現在も支援を続けておられるようです。

今後は名誉支部長として引き続きご指導、ご支援、ご協力を賜りたいと思っております。(広報部)

平成二十九年清瀬地域支部定時総会

支部長 今井 康之 (昭32経営)

五月十三日(土)午後一時三〇分から三時三〇分まで、清瀬市生涯学習センターにて開催いたしました。出席者は役員を含めて十七名です。総会は西尾幹事の司会で定

刻に始まり、出席者の自己紹介、粕谷支部長の挨拶、来賓の當麻多摩支部副支部長、義江東久留米地域支部長から祝辞を頂き、議長選出へ進み、司会の西尾幹事の推薦で笹谷幹事を賛成多数で選出し、平成二十八年度事業報告を和田幹事長、平成二十八年度決算報告と五周年記念事業を特別会計として処理した旨を福田会計幹事、平成二十八年度監査報告を穴田監査委員より報告、以上平成二十八年度監査報告までについて、笹谷議長から質疑の提案があり、異議なしの発声と賛成の挙手多数で承認。続いて平成二十九年事業計画(案)を和田幹事長、平成二十九年度予算(案)を福田会計幹事より提案、以上を笹谷議長から質疑の提案があり、賛成の挙手多数承認。続いて役員改選について粕谷支部長から提案、地域支部長、地域副支部長、地域支部監査委員が賛成挙手多数で承認。今井新支部長は挨拶の後、幹事長は未定とし、副幹事長を指名し賛成挙手多数で承認。幹事、会計幹事地域支部長に委嘱を提案承認された。議長選任に続き、司会の西尾幹事の閉会の辞を以って終了となりました。(後日、幹事長に粕川偉三男氏、副幹事長に斎藤 強氏を選出しました)

平成二十九年清瀬地域支部事業計画について

本年度の主要事業活動について簡単にお知らせいたします。

- 一、地域支部役員会は一般会員の参加のもと懇談会として毎月開催(原則第一日曜日)
- 二、イベント開催は左記のとおりです。

○第五回多摩湖一周ウォーキング(十一月十一日(土) 実施予定)

○健康麻雀大会、清瀬南口「麻雀荘たんぼぼ」にて年二回(三月、九月)開催

○他地域支部交流(随時) 囲碁、麻雀、ゴルフ等

○紫紺句会(毎月第三日曜日午後、市生涯学習センター 一等)

○清瀬市石田波郷俳句大会の支援

十月二十九日(日)けやきホール開催  
○懇親会(定時総会、忘年会、新年会等)  
忘年会 平成二十九年十二月十日(日)開催予定

○母校各種競技観戦、応援(野球、ラグビー等)

○多摩支部定時総会 平成二十九年六月十八日(日)

○校友会全国大会  
沖繩大会 平成二十九年十一月十八日(土)

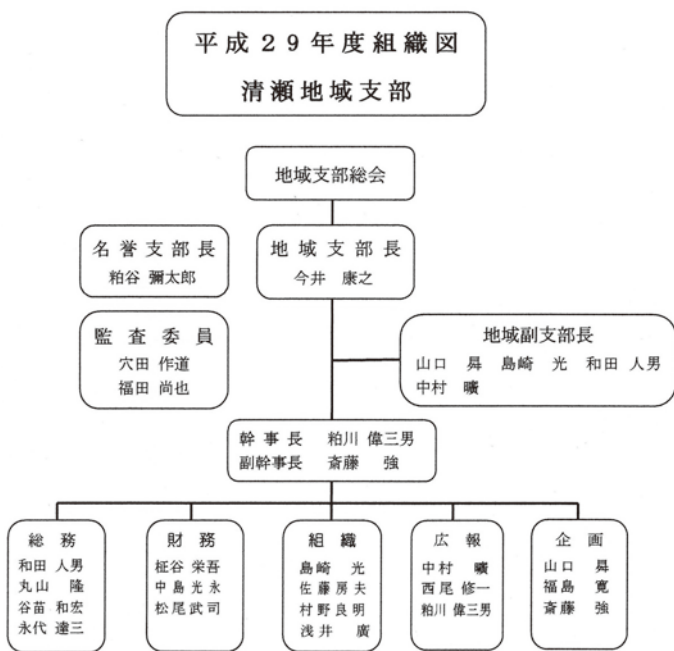
○大林組技術研究所見学 平成三十年二〜三月予定

○新会員の加入促進(随時)

○広報誌の発行(年二〜三回)

三、その他

事業活動は、校友各位の積極的な参加です。校友会が校友の交流の場として一層活発な活動展開を図りたく校友各位のご理解、ご協力、ご支援をお願いいたします。



## 第十四回多摩支部定時総会に出席して

和田 人男（昭33法）

多摩支部は、設立から十四年になります。本年度の定時総会は、平成二十九年六月十八日、立川グランドホテルで開催されました。私は第九回定時総会から毎年参加していますが総会の内容も特色がでているように思います。

昨年度は、第一部、公開講演会、第二部、総会、第三部、懇親会とアトラクションでした。

本年度は、第一部、総会、第二部、アトラクション、第三部、懇談会というスケジュールでした。特に、第一部のアトラクションではE.P.A.O.ダンスチーム（熟女人組）のダンスと各地域支部のアピール（二十一地域支部）を一分間の制限時間で、パネルの写真で紹介したことでしよう。

各年度の総会も

実行委員会の検討

結果が式次第、また内容にも顕著にあらわれています。

第十五回多摩支部

定時総会実行委員は、清瀬、青梅、昭島、国立、国分寺の五地域支部の担当です。

総会には、以前の

各総会を上回る企画を立案し、校友が総会に参加してよかったと実感できるようにしたいものです。私も次回は必ず参加する予定です。



懇親会参加者と

和田人男様は清瀬地域支部の発起から会員募集活動、設立後は幹事長として会の運営、発展に寄与されました。

今般、任期満了を機に退任されることになりました。幸い副主席長にご就任されるので、引き続き会の発展のため、ご指導とご協力をお願いしたいと思います。ありがとうございます。（広報部）

エッセイ中国シリーズ その一

## 我が故郷「鳥取」

福田 尚也（昭39商）

神話「因幡の白兔」で知られている因幡の国と伯耆の国が廃藩置県により鳥取県となり、中国地方東部に位置し、人口は約五十八万人で全国四十七都道府県のなかで一番最少の県がわが故郷です。

先ず、あまり知られていませんが故郷鳥取は、わが明治大学の創設者の一人、岸本辰雄先生の故郷であることを申し上げなくてはなりません。

鳥取県は、県庁所在地鳥取市内でも温泉が湧き出るほどこで全県各地に有名温泉が点在する温泉天国です。

では、観光地を鳥取市を中心の東部、倉吉市を中心の中部と米子市を中心の西部の三地域に分けてエリア別にどこを紹介したいと思えます。先ず、東部エリアでは、東西十六km、南北二・四km規模を誇る日本最大級の海岸砂丘の「鳥取砂丘」でしょう。年間一三〇万人以上の観光客が訪れます。白砂青松、海風によって作られる砂の芸術「風紋」は圧巻です。続いて中部エリアでは、断崖絶壁に建つ国宝「三徳山三佛寺投入堂」は慶雲三年（七〇六）に開かれたとされる修験道の行場、山全体が国の史跡名勝に指定され、この奇跡のお堂を見ようと訪れる人が後を絶ちません。日本遺産にも指定されており、次に西部エリアは、日本で三番目の国立公園となった「大山」です。伯耆富士として親しまれ、中国地方最高峰を誇ります。春から夏は新緑、秋は紅葉、冬は雪山、スキーと四季を通じて雄大な自然を満喫できます。また、「ゲゲの鬼太郎」の作者水木しげるさんの生まれ故郷でもあ

り、「水木しげるロード」「水木しげる記念館」も楽しめます。他にも多くの名所旧跡があり、飽きることはありません。最後に、全国に知れ渡っていますが、特産品を列挙しておきたいと思えます。「二十世紀梨」「砂丘らっきょう」「松葉ガニ」などなど数えきれません。「百聞は一見に如かず」是非、我が故郷へお越しください。



水木しげるロード



断崖絶壁に建つ  
国宝「三徳山三佛寺投入堂」



鳥取砂丘



秋の味覚「二十世紀梨」



中国地方最高峰「大山」(伯耆富士)

## 地域活動を目指して〈植木剪定・植栽・管理〉

西尾 修一(昭44政経)

私は三十年以上勤めたサラリーマン生活を五十代半ばで早期退職して第二の人生のスタートを選びました。

東京都の職業訓練校が立川にある事を知り、その中で植木屋になる人間を育てるのが目的という園芸科の受験にトライをしました。当時で約七倍の競争率でしたが何とか合格をする事が出来ました。三十名のクラス編成で講師は六名の現役の植木屋の親方が担当し、植木剪定や植栽、庭の設計や施工、また病害虫駆除等を学びました。

その他女性講師一名による草花栽培のカリキュラムもありました。座学と校外での実習があり多磨霊園や小金井公園等へも出掛けて剪定作業を実施しました。半年間の授業でしたが十二月になると門松の製作も始まり、完成品は立川市役所や東京都庁の正面玄関に飾りました。現在も年中行事として継続している様です。無事六か月の研修も終え、私は東久留米市の植木屋に就職する事となりました。車での通勤ではありませんが朝は八時から夕方五時までの肉体労働でした。雨の日は晴耕雨読ならぬ晴耕雨休で休みとなりましたがそれ以外は日曜祭日だけです。就職して直ぐに二級造園技能士の試験にもチャレンジしてなんとか合格する事も出来ました。またチェーンソーや刈り払い機講習、玉掛け技能講習も受講いたしました。振り返って思い起こせば、やはり若かった事とガムシヤラに取り組んでいた事が懐かしく思われます。植木屋勤務は三年間ではありましたが学校とまるで違う貴重な経験が出来たと思っております。その後、現在に至るまでは今までの体験を生かして清瀬シルバー人材センター植木班での仕事と園芸店での植木管理の仕事をして地元での活動を続けております。



門松製作作業



グループで造園作業

## 卒業して今の私は

曾根 喬登(平29経営)

この度(平29年)経営学部を卒業しました曾根と申します。清瀬幼稚園、清瀬小学校を卒業と二十年近くこの清瀬にて生活しております。現在は三菱製鋼株式会社に就職し、営業として働いております。当社の主力商品である自動車向けのサスペンションばねやスタビライザを明大で培った様々な経験を生かしながら日本国内のみならず海外を含め、シェア拡大に力をいれてまいります。

清瀬在住の平成二十八・二十九年卒業の校友に当支部の紹介を兼ねアンケートを実施しました。住所確認と校友会のPRを目的としました。今後も活動をお知らせし、PRと入会を勧めていきたいと思います。(広報部)

## 第八回麻雀大会を開催

福島 寛(昭37政経)

九月五日に第八回麻雀大会を開催しました。幸いにも当日は秋日和の快晴の天候に恵まれました。会場は駅南口近くの健康麻雀荘「たんぽぽ」です。

今井支部長の参加者へのお礼の挨拶の後、午前十時にスタートしました。

今回は、明大校友会からは七名が出席し、市民の愛好家が九名参加され、四卓十六名で六回戦の総合得点を競いました。その結果、一位は一般の橋本さんで、得点は二十六万四千五百点でした。二位、三位も一般の方で、四位に穴田さん、ラッキーセブン賞に村野さん、ブービー賞に斎藤さんが入賞されました。

そして例によって大会後は、一般参加者の方々も参加されて、近くの居酒屋で大いに盛り上がりつつ散会しました。



みなさん真剣な麻雀大会  
(雀荘「たんぽぽ」)



## 東京湾クルージング乗船記

粕川 偉三男 (昭48政経)

八月六日、東京湾のクルージングに参加させていただきました。校友の他、俳句会の方、麻雀の会の方、ウォーキングにご参加の方と総勢十八名の方々のご参加をいただきました。

朝方の俄か雨で天気が心配でしたが、現地に着くころには真夏の太陽でした。

乗船前に軽食で腹ごしらえ、記念写真を済ませていよいよ乗船。老人(?)に配慮をして屋根付き、クーラー完備のクルーザーで日本橋を出航。普段見ることが無い、川から見上げる首都高速、ビル群を見ながら日本橋川から隅田川へと視界が一気に広がり、期待が膨らみました。前の週に開催された隅田川花火大会に思いを馳せながら、眼前には超高層の大川端リバーマンション群が迫ってきました。憶シヨンの住人はどんな人たちかなと勝手に想像している中、ガイドの軽妙な説明に耳を傾けると、ここは昔人足寄場で火盜改めの長谷川平蔵が活躍したところと一気に江戸時代にタイムスリップ。更に進むとオリンピック選手村の工事現場が現れてきました。

一万人の選手団がここから各競技場に戦いに行くと考えるとわくわくします。その先には話題の豊洲新市場。ガイドの説明を聞いていると突然眼前に「高速ジェット船」が現れてきました。「浮いているー」と興奮気味でしたが浮かなかったら沈むだろうと冗談を言いながらジェット船を目で追いかけてました。イラストレーター柳原良平さんのデザインによる「セブンアイランド虹」という船名で大島まで二時間弱、式根島には三時間弱と高速で運行。クルージングも折り返し地点から築地大橋、勝鬨橋、中央大橋、永代橋、豊海橋、の下をくぐって無事日本橋まで戻ってきました。名幹事福島様ご案内により清瀬に戻って暑氣払いを兼ねて居酒屋で楽しいひと時を過ごし解散しました。

出港前の記念写真



船内はエアコンで快適



### フォトエッセイ・シリーズ ①

#### 私の選ぶ清瀬十景

中村 曠 (昭36政経)

#### (一) 中里の富士講と火の花祭

中里三丁目に富士山信仰の名残、富士塚があります。小金井街道から柳瀬川通り、富士見幼稚園信号を右折坂道を登ったところです。江戸時代に築造、約九メートルの高さ、築山の北側には鳥居がある。

普段は人も訪れない閑静な住宅地であるが、毎年九月一日に富士講が行われます。鳥居の前に藁を積み上げ、祭りの最後に燃やされるお焚きあげという行事です。参拝者は築山に登り、灰は、厄除け、豊作祈願に持帰ります。東京都無形民俗文化財に指定されています。隣接の空き地には櫓が生まれ、「火の花祭」が賑々しく催される。太鼓、踊りが最高潮になります。祭りの定番、屋台が立ち並び、子供達にとっては夏休み最後の楽しいイベントとなっています。



クライマックスのお焚きあげ



火の花祭の櫓

#### (二) 金山緑地公園と調節池

「金山緑地公園」は清瀬市の北端、所沢市に接する柳瀬川北岸に昭和六十一年にオープンした市内では最も大きな都市公園です。園内には多くの樹木や野草が植えられ、園内の小川にはホタル養殖も行っています。池にはカルガモもやってくる野鳥の宝庫であり、カメラ愛好者が集まっています。また、公園に隣接する「金山調節池」は柳瀬川の洪水対策として平成六年設置されました。池の周囲には多くの木々植物が四季を通して楽しめる、外周には散歩道が整備されていて多くの市民が終日憩いの場として利用されています。



金山緑地公園



園内の三春の滝桜



10万本のひまわり



展望橋を渡って・・・

(次号に続きます)



野鳥の集まる調節池



緑豊かな散歩道

### (三) 清瀬ひまわりフェスティバル

清瀬ひまわりフェスティバルは平成二十年から始まり、清瀬の夏の風物詩となっております。二万四千平方メートルの広大な農地に約十万本のひまわりが迎えてくれます。今年は八月十九日から九月三日まで開催され、西武鉄道の協力もあり、十万人を超える来場者があつたそうです。

### 第九回石田波郷俳句大会について

榎谷 榮吾 (昭46法)

今年の石田波郷俳句大会は十月二十九日(日)に開催されます。主催者である清瀬市石田波郷俳句大会実行委員会は、今年の大会に向けて四月より毎月一回の頻度で会議を開催しています。我が校友会も実行委員会に三名参加しているほか、この大会の成功に向けて投句のパソコン入力作業や当日の大会運営などに協力しています。今年の大会の一般の部には二二〇〇句余りの投句がありました。選者による審査はすでに終わり、受賞者には通知が届いています。

当日は午前十時よりジュニアの部の表彰式、午後一時より俳句結社「沖」の主宰能村研三先生の講演、引き続き一般の部及び新人賞の表彰式が行われます。

校友会のみなさんには、是非ご来場のうえ大会を盛り上げていただきたいと思ひます。

実行委員会の取り組みのうち、今号では「あぢさゝ吟行句会」と「俳句出前授業」について紹介します。

#### ☆あぢさゝ吟行句会

大会を盛り上げるため清瀬市及び近隣市の俳友に呼び掛けて毎年開催していますが、今年六月二十一日(木)十時に清瀬駅南口に集合し、清瀬高校中庭遊歩道、あじさいロード、中央公園波郷句碑、東京病院周辺などを廻って吟行しました。

午後一時半から二時まで谷村鯛夢先生の講話「紫陽花忌」があり、二時から句会が開催されました。句会参加者は四二名でした。我が校友会より選者の大山恭子さんのほか、粕川偉三男さん、佐藤房夫さん、中村曠さんと私が参加しました。

句会では高得点者の紹介があり、大賞は七点句の平林寺句会の女性を受賞しました。校友では佐藤房夫さんの六點句が次点として紹介されま

した。

点滴台転がす小径濃紫陽花

校友会紫紺句会員一同大変うれしく思いました。



清瀬高校の紫陽花句会



アミューで講話と句会

#### ☆俳句出前授業

今年も市内小中学校の俳句出前授業が、五月十七日から七月二十一日まで開催されました。「西の松山・東の清瀬」を目指し清瀬を俳句の街にするためにはこのような地道な活動が重要だと思ひます。校友会より、俳句の先生として大山恭子さん、授業のアシスタントとして穴田作道さん、佐藤房夫さん、中村曠さん、私の四人が協力しました。小中学生の感性や素直な句に触れて我々も貴重な体験ができ元気をもらった感じがします。俳句が市内小中学生に根差していることも感じられました。

#### ☆初めての合評句会：紫紺句会報告

八月二十日(日)の第三十七回紫紺句会には、初めての試みである合評句会の形式で開催しました。当日は追子先生欠席でしたが、紫紺句会十一名のほか、清瀬句会より女性七名、ひなどり句会より女性一名の参加を得て総勢十九名の句会となりました。清瀬句会の森田京子さんに句会を取り仕切ってもらいました。

いつもは男性会員だけの紫紺句会ですが、俳句歴の長い女性八名の参加で会場も華やき、俳句の季語も多岐にわたり、とても楽しい合評句会となりました。句会後は

十七名参加して「はなの舞」にて反省会。「楽しい句会だったね、このような句会をまた開きたいね」という声が多く聞こえてきました。

また、句会では高得点五句に賞品を用意しましたが、受賞者は次のとおりです。

〇七点句

みどりこ

☆嬰兒へ添ひ寝の妻の団扇風

佐藤房夫(紫紺句会)

〇五点句(五十音順)

☆道を問ひ道連れとなる白日傘

上田公子(清瀬句会)

☆かなかなや素顔のままの君がいい

上田公子(清瀬句会)

☆江戸の香の薫る大川船遊び

斎藤 強(紫紺句会)

☆送り火や雨の門前薄あかり

中村 曠(紫紺句会)

なお、四点句には、森田京子さん、吉澤銚子さん(清瀬句会)、米山恵子さん(ひなどり句会)、紫紺句会より福島寛さんと私の句が選ばれました。紫紺句会のみなさんが好成績を取めたと思います。



女性参加者により華やかな紫紺句会



「紫紺俳壇」



ふる里を口にひと粒山桜桃梅  
片陰に人の流れの食事時  
リーチ即どらどらでんでんジャン涼し  
遠火花かすむ街の灯トンと鳴り  
火渡りや祈る山伏陽炎へる  
道楽の釣具の手入れ梅雨晴間  
生涯の念仏行が蝉しぐれ  
空蟬やしかとタイヤに爪立てり  
橋の下石に戦火の夏日陰  
緋のつつじ蜜に口するランドセル  
秋暑し球児の涙土に消ゆ  
日本橋発つクルーズや原爆忌  
大枝に富士見え隠れ青嵐  
一鋤に掘る箭の白き肌  
街路樹の枝に紅さず桜かな

穴田 作道  
粕川 偉三男  
粕谷 彌太郎  
斎藤 強  
佐藤 房夫  
島崎 光  
中西 宣二  
中村 曠  
西尾 修一  
福島 寛  
福田 信夫  
榎谷 榮吾  
松本 幹司  
丸山 隆  
和田 人男

第五回多摩湖一周ウォーキングのご案内  
浅井 廣(昭53文院)

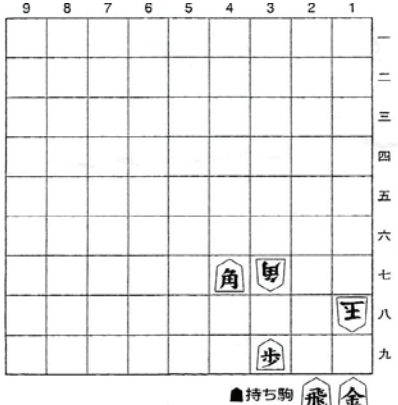
ウォーキングは今年第五回を迎えます。  
お蔭様で年々市民の方々の参加も増え、昨年は、晴天に恵まれ、清瀬市民のほか、近隣の東村山、国分寺からの参加者もあり、楽しく、賑やかなウォーキングとなりました。  
今年も多くのの方々に参加いただき、みんなで秋の一日を楽しみたいと思います。  
是非ご参加ください。

日 時 十一月十一日(土) 小雨決行  
集 合 九時三十分 西武球場前駅改札口  
締 切 十一月四日まで左記あてに電話・FAXで  
申 込 福島



チャレンジしよう!

詰将棋(五手詰)



詰将棋解答  
▲1六飛 □1七歩  
▲2九金 □2七玉  
▲3八角までの5手詰

編集後記

◎故郷シリーズは福田会員の「鳥取県」です。  
◎市内の各種サークルで活躍する会員、今回は西尾会員の「地域活動を目指して(植木剪定・植栽・管理)」です。  
◎新企画「私の選ぶ清瀬十景」は清瀬市内を筆者なりに見つけた景色、行事を紹介するフォトエッセイ・シリーズです。

みんなの情報コーナー

一、差し上げます！プラプラ歩きの相棒  
世界でただ一つのマイ・ステッキ！  
自然木(南天、桐)です。  
年齢不問、身長と性別のみお知らせください。

斎藤 強(昭38工)

斎藤会員は以前から趣味で南天の杖を製作。補助歩行用具として希望者に差し上げてきました。利用者からは大好評。今般、会員希望者にも提供したいとの申し出です。なお、趣味での製作のため、強度等の保証は負いかねます。また、数量に限りがありますが、出来る限りお応えしたいとことです。希望者は左記までご連絡ください。連絡先 中村



二、多摩支部地域支部情報

① 「高尾山紅葉を楽しむ会」

主催 昭島地域支部

期日 平成二十九年十一月二十五日(土)雨天中止

申込 十一月十八日(土)まで

照会 濱田様

② 「歴史探訪「矢川・谷保ハケ下湧水ウォーク」

主催 国分寺地域支部

期日 平成三十年四月十八日(水)小雨決行

申込・照会 佐々木様

三、マンドリン倶楽部定期演奏会

期日 平成二十九年十一月三日(金)

会場 日本青年館

申込 マンドリン倶楽部・午後五時まで左記へ

清瀬地域支部の情報は

一、校友会多摩支部ホームページ

<http://www.meiji-tama.net/kiyose-top.html>

多摩支部・各地域支部の情報掲載。地域支部の活動がわかります。

二、清瀬系紺ネットメール

会員間の連絡手段として利用されています。参加希望者は左記あてメールください。

kiyose-event@meiji-tama.net

あなたの街の

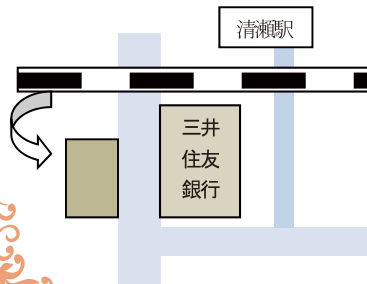
村越自転車店

〒204-0022

東京都清瀬市松山2-3-3

Tel042-491-0349

村越 勝重(S50工)



POSターミナルの導入・開発支援など

有限会社 マイテック

粕谷彌太郎 (S28政経)

本店

〒204-0022 清瀬市松山1-27-1

Tel042-492-0611 Fax 042-495-8357

本社事務所

〒113-0033 文京区本郷2-40-7

YG30ビル 6F

Tel 03-3813-7761 Fax 03-3813-7763

URL <http://www.a-mytech.co.jp/>

日本料理 魚久

お祝い宴席ほか各種宴会をご用意しております

清瀬駅南口 徒歩1分

清瀬市松山1-9-4

Tel.050-5788-8323

営業時間 平日11:30~14:00

16:30~22:00

土日11:30~22:00

定休日 月曜日

そば処 玉川

そば・うどん・丼もの

配達いたします

宴会承ります

(忘年会・新年会・食事会等)

そば・うどんは自家製麺です  
揚げたて天ぷらの美味しい店

営業時間 11:00~20:30

定休日 水曜日

住所 清瀬市上清戸2-6-28  
(郷土博物館となり)

Tel. 042-493-3890



清瀬南口店

ご宴会は50名様まで  
お受けいたします

清瀬駅南口 徒歩1分

清瀬市松山1-11-12

清瀬駅前ビル2F

Tel.042-496-0253

営業時間 16:00~翌3:00